

I 多摩市の図書館

1 令和元年度の多摩市立図書館

(1) 主なできごと

・多摩市立図書館本館再整備基本設計の完了

図書館では、学校校舎を暫定活用している現在の本館から、多摩市の「知の地域創造」の拠点となる中央図書館を、多摩中央公園内に整備する取り組みを進めています。

令和4年11月の開館を目指して、令和元年度（平成31年度）は基本設計をまとめました。基本設計は、建築技術面の検討として、平成31年2月から検討を開始し、基本計画で示された方針と整合させながら、ワークショップや市民説明会の市民意見も参考にして、令和元年7月に完了しました。

同年8月からは、基本設計を基に、今後の建設工事に向けて、さらに内容の具体化・詳細化、発注図書の作成等をするプロセスである実施設計に取り組んでいます。

※詳細はP.82（V 新たな本館の整備に向けて）をご覧ください。

・ヤマト運輸株式会社と連携し、市内3カ所に図書返却ボックス設置

令和元年12月にヤマト運輸株式会社と連携協定を結び、市内3カ所にあるネコサポステーションで図書館から借りた本などを返却できるようになりました。令和2年3月3日に各店舗に図書返却ボックスを設置し、運用を開始しました。図書返却ボックスは、図書館利用者であればどなたでも利用できるため、返却場所が増えたことにより市民の利便性が高まりました。

※詳細はP.14（(9) ブックポスト）をご覧ください

・貸出点数の上限の見直し

蔵書の適正な管理のために多摩市に在住、在勤、在学の個人利用者と団体の貸出点数について見直しの検討をおこないました。検討は平成30年度から開始し、平成31年2月から3月にかけて利用者アンケートをおこない、その結果も踏まえ内部で検討を重ねました。改正に必要な規則、要綱の改正案は、令和2年1月に図書館協議会で報告後、2月の教育委員会で協議、採択され、令和2年6月から実施します。

・学童クラブへのセット貸出サービスの実施

登録団体が、本を選定、運搬する従来の団体貸出制度による負担軽減についての要望に応えるため、図書館が選定した絵本やよみものなど100冊をセットにしたセット貸出を令和元年4月から学童クラブに対して開始しました。令和2年度からは、児童館も対象とする予定です。

・多摩市立図書館事業評価の実施

図書館法第7条の3の規定及び多摩市読書活動振興計画取り組み15（事業計画の策

定と評価)に基づき、平成30年度の図書館事業について評価を実施しました。評価方法については、平成30年度に内部検討、図書館協議会での協議を経て決定しました。

・台風および新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館やサービスを限定しての開館の実施

10月に東日本に被害をもたらした令和元年東日本台風の影響のため、図書館は台風が接近した当日(10月12日)正午から翌日(10月13日)の正午まで臨時休館しました。また3月には新型コロナウイルス感染症拡大防止のための政府や東京都からの外出自粛や休館要請をうけ、3月2日から9日まで全館臨時休館し、10日からは、予約資料の貸出、図書館ホームページの検索・予約等、サービスを限定し開館しました。

(2) 主な統計データ

区 分	平成30年度	令和元年度	増 減	増減割合
蔵書数(点)	756,689	753,050	△3,639	△0.5%
資料購入費(円)	56,375,792	56,869,600	493,808	0.9%
個人貸出点数(点)	1,626,112	1,537,505	△88,607	△5.4%
多摩市の人口(人)	148,691	148,835	144	0.1%
市民1人あたりの貸出点数(点)	10.9	10.3	△0.6	△5.5%
登録者数(人)	97,284	86,959	△10,325	△10.6%
予約件数(件)	468,151	458,731	△9,420	△2.0%
団体貸出冊数(冊)	26,366	26,912	546	2.1%

※蔵書数、登録者数は令和2年度末現在の数値

※人口:平成30年度は平成31年4月1日現在、令和元年度人口は令和2年4月1日現在

(3) 令和元年度 主な事業

5つの運営方針に基づき重点事項を決め、新規・レベルアップの事業・取り組みの年間計画を立て、実施しました。

※○が重点事項

運営方針1 だれもが使える図書館

【実施内容】

○乳幼児を連れた保護者がより図書館を利用しやすくする

- ・図書館本館再整備基本・実施設計のなかで中央図書館に親子利用のしやすい本の配架、おはなし室やくつぬぎスペースの整備について計画しました。
- ・各図書館で育児に関する雑誌や本を紹介するコーナーをより利用しやすくなるようなレイアウト変更のほか、ベビーカーの利用や授乳、おむつ交換ができる場所の案内を掲示するなど利用しやすい環境を作りました。

○若年世代（10代後半から20代）の利用を促進する

- ・ティーンズ向けの企画展示について、図書館ホームページの「ティーンズのページ」への掲載や、手に取りやすくなるように展示方法を工夫するなどPRしました。
- ・夏休み期間に本館ティーンズコーナーや関戸図書館学習室の一部をティーンズのグループ学習スペースとして開放しました。

○誰もが図書館を利用できるよう、高齢者や障がい者、多様な文化を持つ人々へのサービスに努める

- ・外国語資料や日本語を習得するための学習図書、英語学習資料を積極的に収集するとともに、本館に日本語を学ぶための資料を集めたコーナーを設置しました。購入した外国語資料やコーナーについて、図書館ホームページや市内外国人に配布している情報誌を利用しPRしました。

運営方針2 子どもの読書環境の整備

【実施内容】

○第三次多摩市子どもの読書活動推進計画の推進

- ・平成30年度アクションプランの振り返りとプラン改訂を実施し、令和元年版を作成しました。またアクションプランを図書館内、関係課、市立小中学校で活用し、各施策の計画的な推進を行いました。
- ・情報収集、情報共有のために市内全小中学校の実態調査をするためアンケートを実施しました。

○支援の必要な子どもたち向けの資料の利用を促進する

- ・マルチメディアデイジーを特別支援教育に関心のある市民に向けて展示と説明をするなどPRするとともに支援の必要な児童、生徒向けに大活字本やLLブック、マルチメディアデイジー等の資料のセットを作成し、学校図書館や特別支援学級に貸出を実施しました。

運営方針3 市民や地域に役立つ図書館

【実施内容】

○読書活動をおこなう団体がより図書館を利用しやすくする

- ・団体貸出利用団体の本の選定、運搬の負担を軽減し、利便性を高めるため、図書館があらかじめ季節などに合わせ選んだ本のセットを作り、学童クラブに対し、団体貸出を前期・後期の2回実施しました。

○イベントや展示を実施し、新たな本との出会いを提供する

- ・新たな本との出会いの場を提供する読書活動振興のためのイベントを開催しました。令和元年度に取り組んだイベントは次のとおりです。

1) ビブリオバトルの実施

毎年実施しているビブリオバトルについて、中高生の参加を促すため、新たに中

高生の部を新設し、一般の部との2部構成で実施し、チャンプ本を地域コミュニティ紙などで紹介しました。また当日バトラーが紹介した本は、図書館ホームページでバトラーのコメントとともに紹介し、永山図書館でも展示しました。

2) パルテノン多摩との連携企画展示の実施

パルテノン多摩で開催された連携企画展示「多摩ニュータウンのトイレ建築と、地域のトイレの変遷」の展示にあわせて関連する地域資料を図書館内で展示しました。

3) 本の福袋を全館で実施しました。

4) 一日図書館員の実施

小学生向け夏休みイベント「一日図書館員」の定員を増やし、受付方法を改善しておこないました。

運営方針4 しらべるを支え、つながる図書館

【実施内容】

○地域課題に合わせた企画展示を庁内各課などと連携し実施する

・各課と連携した企画展示

各課から募集したテーマ（「認知症を知る」「こころの健康」「生物多様性」などの行政課題）を企画展示として取り上げました。令和元年度は18課から希望があった28のテーマで企画展示をおこないました。

・都内公立図書館と連携した企画展示

東京2020大会に向け、都内公立図書館で共通テーマ「東京でおもてなし」での資料展示を実施しました。令和元年度は、アイスランドの紹介やロードレースをテーマにした展示を実施しました。

○地域や個人の課題を解決するため、レファレンスサービスの充実を図る

・オンラインデータベースの利用を促進するため、法律データベースと経済情報データベースの利用講座を実施しました。

運営方針5 弾力的な管理・運営

【実施内容】

○図書館本館再整備基本設計の完了と実施設計業務の取り組みについて

・基本設計は、建築技術面の検討として、平成31年2月から検討を開始し、基本計画で示された方針と整合させながら、ワークショップや市民説明会の市民意見も参考にして、令和元年7月にまとめました。

同年8月からは、基本設計を基に、今後の建設工事に向けて、さらに内容の具体化・詳細化、発注図書の作成等をするプロセスである実施設計に取り組んでいます。

※詳細はP.82（V 新たな本館の整備に向けて）をご覧ください。

○IC タグ貼付エンコード業務の開始

- ・利用者サービスの向上と業務の効率化を目的に、IC タグ関連機器の導入を検討してきました。

まずは、令和2年10月から関戸図書館・永山図書館で運用を開始できるように、全館全資料（約78万点）にIC タグを貼付・エンコードするための業務委託を令和2年1月に締結し、準備にあたっています。